

山間農業地域

- 〇 小谷村は、北アルプスの白馬乗鞍岳の麓、標高600~800mに位置し、扇状地形の農地と姫川 を挟んだ点在農地を含む典型的な山間農業地域です。
- 令和3年度に村内にある8集落のうち7集落で組織の広域化を図り広域組織を設立しました。
- 都市農村交流を推進するとともに、広域化により集落間の協力体制が進み、村全体で共同活動に取り組んでいます。

【地区の概要】

- •取組面積:100.1ha
 - (田96.0ha、畑4.1ha)
- •資源量:開水路 31.5km
 - 農道 37.2km
- ·構成員:農事組合法人,東京農業大学、 自治会
- •交付金:約7.8百万円

農地維持支払

資源向上支払(共同、長寿命化)

活動開始前の状況や課題

○ 特定農山村・振興山村・過 疎の指定を受けており、高齢 化が進み担い手不足に悩ん でいる地域でもあり、農村環 境の維持・保全が懸念され ていました。



草刈り作業

取組内容

- 〇 農業者、地域住民協働で年12回程度総出で、 農道や農地周り、水路の草刈り作業を実施して いる。また、農道の砂利敷きや舗装など地元の 直営施工で実施しています。
- 村総出で鳥獣害防止柵を設置し下草刈りなど の維持管理を実施しています。



鳥獣害防止柵の設置作業

取組の効果

- 福祉施設と連携して遊休農地へ作物を作 付けしています。
- 棚田オーナー制度により棚田の維持管理 を行うとともに収穫した米から地元の日本酒 を製造するなど、集落間で連携し様々な取組 を実施し、農地の維持に貢献しています。





棚田オーナー制度による稲刈り

福祉施設と連 携した作物の 定植